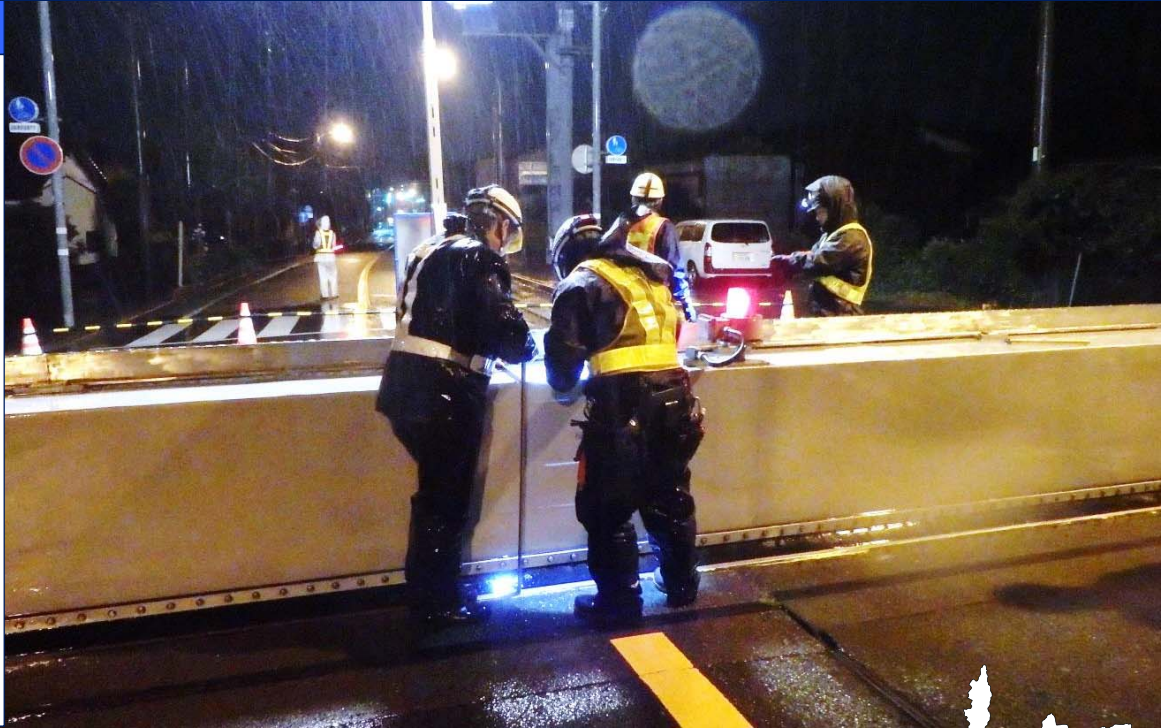


瀬戸川 (焼津市浜当目)

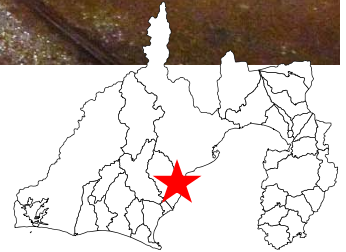
【現場の紹介】

瀬戸川の堤防嵩上げに合わせて昭和60年度に設置された当日陸開。県道静岡焼津線の当日大橋の両岸に設置されています。毎年1回、県道を全面通行止（夜間のみ）にして施設の定期点検を実施し、安全に作動するか確認しています。



【地域の紹介】

県道静岡焼津線は、大崩海岸を通るルートであり、今年の3月は浜当目トンネルが開通し安全に走行できるようになりました。駿河湾に向かってそそり立つ海食崖は奇勝として有名です。荒波に削られた奇岩や断崖の彼方には、富士や伊豆半島の山並みが雄大に浮かんでおり、シーサイドドライブウェイとしても絶好のルートです。



竜洋海岸 (磐田市中平松)

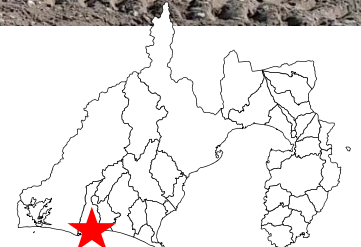
【現場の紹介】

天竜川左岸の竜洋海岸では、供給土砂量が減少したことにより、海岸侵食が生じています。海岸侵食は、越波による堤防の破堤や浸水被害の原因となるため、侵食の著しい箇所へ土砂を投入し海岸線を維持する養浜事業を実施しています。



【地域の紹介】

竜洋海岸から御前崎までの海岸線は、御前崎遠州灘県立自然公園に指定されています。自然公園内の海岸は、砂丘がほぼ全域にわたって発達し、背後を覆うクロマツ林とともに白砂青松の美しい景観を誇っています。



小河内町屋（静岡市清水区小河内）

【現場の紹介】

静岡市清水区の小河内町屋地区では、平成26年の台風18号により斜面が崩壊したことから、今年度からがけ崩れ対策に着手しました。この機会に、土木の役割と魅力を知ってもらうため、近隣の清水小河内小学校を対象に現場見学会を実施しました。



【地域の紹介】

現場の北側には、新東名高速道路のパーキングエリアである「NEOPASA清水」があります。コンセプトは「くるまライフ、コミュニティーパーク」であり、車の展示やレンタルバイクなど清水PAならではの楽しみ方ができるほか、展望台からは富士山や三保の松原を眺望できます。ぶらっとパークがあり、一般道からも利用可能ですので一度利用してみたいはいかがでしょうか。



水防車更新（静岡市葵区追手町）

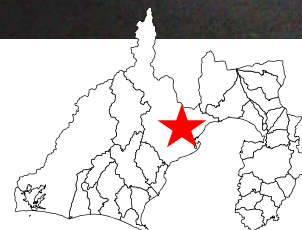
【水防車の紹介】

水防車は、水防活動の指令を出すために現場へ出動する車両です。そのため、優先通行・緊急通行が必要であることから、警光灯やサイレンの装備が義務付けられています。また、水防倉庫に備蓄されている土のう袋やスコップなどの水防用資器材など水防活動に必要なものを輸送する役割も担っています。



【更新の状況】

先代の水防車は20年活躍し、延べ11万km以上を走りました。10月4日に納車された水防車は、ステーションワゴンタイプの先代とは異なり、最大渡河能力70cmのフルタイム4WDで、激化する豪雨により浸水が発生しても現場に駆けつけることができるようになりました。



台風シーズンが終わり、紅葉などの行楽シーズンとなり、山や川を訪れる機会が多くなるかと思えます。紅葉を背景とした旬な現場を見に行ってみてはいかがでしょうか。出かける際は、サイボスで天気予報のチェックを忘れずに。（河川海岸整備課 桑原）



静岡県交通基盤部河川砂防局

Tel : 054-221-3038

Mail : kasenki@pref.shizuoka.lg.jp

HP : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-320/>

